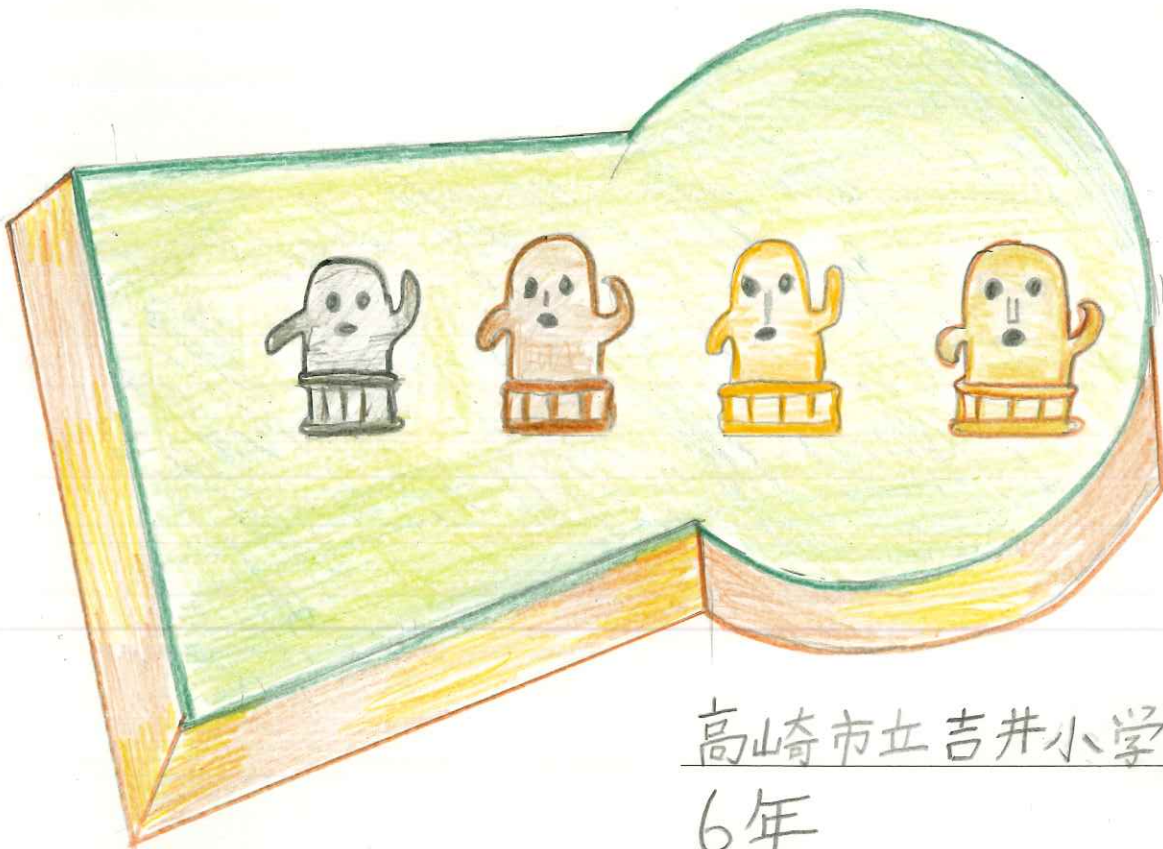


DATE _____

埴輪って何？

～古墳巡りのはじまり～



高崎市立吉井小学校
6年

NAME 西澤優羽

はじめに

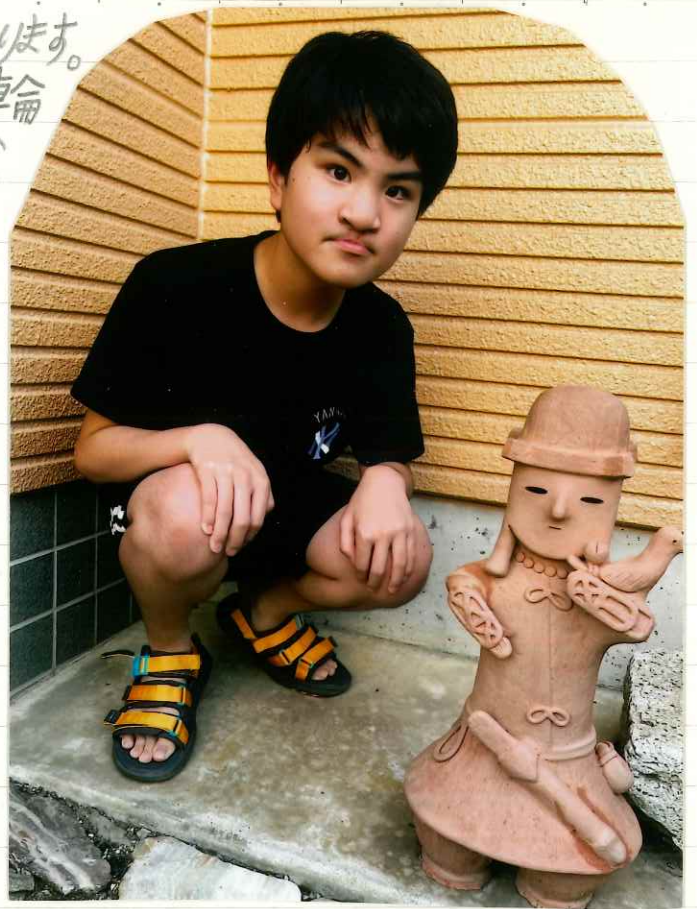
我が家の玄関には、埴輪が置いてあります。
鳥や刀を持っているやさしい表情の埴輪
です。40年ぐらい前に歴史の好きな
人が作ってプレゼントしてくれたら
です。

『埴輪は何?』

ぼくは、色々な場所に行って、
もっとたくさんの埴輪を見たいと
思いました。

家族にも協力してもらい、群馬県内
の古墳や博物館を巡る旅が
初まります。

下の年表にまとめてみました。
埴輪の年表です。

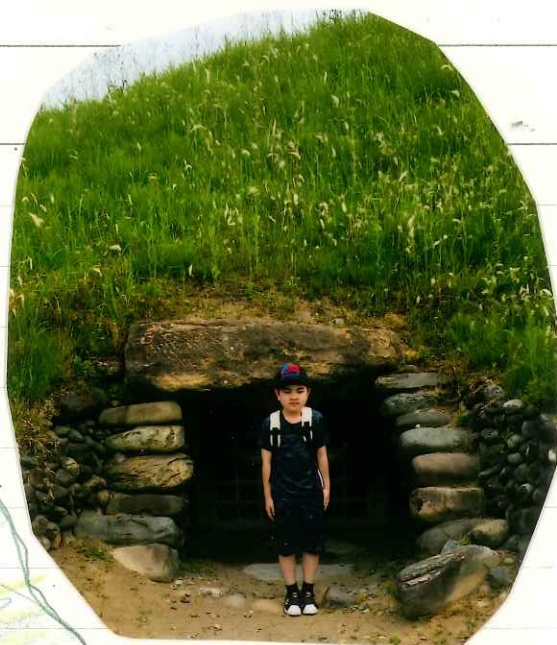


一目でわかるよ!!



	3世紀	4世紀	5世紀	6世紀	7世紀
 の 出 現		円筒埴輪 家、盾			
		甲冑		大刀、弓	 の 消 滅
			盾持ち人		
			舟		
		鶏			
			水鳥、人物		
			馬、動物		

東国の中心だった群馬



古墳 大国 群馬県

群馬には大小ふくめて、
13000この古墳があります。
外国から、初めて馬が来た
ので、群馬県という名前が
つけられたようです。

古墳の中は、石で作られていて、暑い夏でも涼しかった。
色々な形や工夫がしており、特に馬の埴輪が好き
です。何年もかけてたくさんの埴輪を見たよ!!



古墳巡り

● 前橋天神山古墳



4世紀前半



三角縁神獣金鏡
女王卑弥呼が中国から持ち帰った物と同じで、畿内との強い結びつきを表す鏡です。

古墳の大部分が削られています。もとは129mぐらいの大きい古墳です。

● 宝塔山古墳



7世紀前半頃

入口が立派でした。

石室は自然石ではなく、きれいに加工された石を積み上げる「截石切組積」という高度な技術が使われています。古墳の大きさは60m(十辺)

横穴式石室
で見学可能



家形石棺

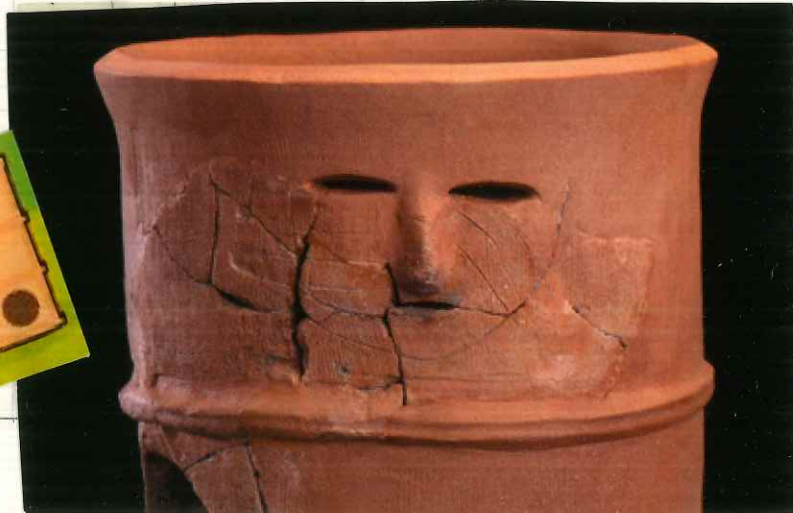


● 中二子古墳



6世紀中頃

大室古墳群の中で最も大きく立派な古墳で、二重の周堀を持ちます。古墳の大きさは111mです。群馬県内でも遺跡の多い地区で、特に4つの二子山古墳など史跡もたくさん残されています。



円筒埴輪に人の顔が表現された珍しい埴輪が出土しています。夾頭には入れ墨と思われる線もあります。人面付円筒埴輪

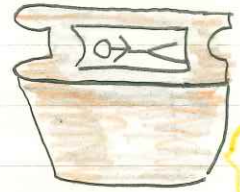
● お富士山古墳



5世紀前半

石棺は立派な物でした。

お富士山古墳の長持形石棺は、全長285cm、幅121cm、高さ115cm、重さ約6.8トンです。石棺は地元の石材を使用してヤマト王権御用達の工人の手で製作されました。



大きい！

● 南下E号古墳



7世紀末頃

線をもとにして、
きちんと作り上げてくださいね。

かつて100基以上の古墳があつたとされる南下古墳群の一つです。石材加工の際に目印にしたと思われる赤色の作業線が石室の壁に数多く残っています。これは全国でも非常に珍しいものです。

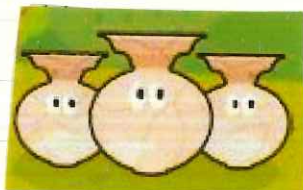
● 元島名将軍塚古墳



4世紀前半

群馬県で最も古い古墳です。

後方に東海地方西部のものに似た底部穿孔壺が並べられていました。その壺は、葬送儀礼のために作られたもので、日常の壺と区別するために孔をあけた。



●井出二子山古墳



5世紀後半

ぼくも植車輪を作ったよ!!

広大な二重の堀を巡らして、
たくさんの植車輪が並べられた
古墳です。古墳の大きさは108m
です。



●軍配山古墳



4世紀後半

40mと小さい古墳なので、見つけるのが大変でした。
豪華な出土品多数出土しています。
武将、滝川一益が軍配を振ったことが、名前の
由来だそうです。

田んぼの中の古墳だったよ!
くるくる迷ってしまったよ。

●白石稻荷山古墳



5世紀前半

後円部に比べて前方部が低い前期古墳に見られる
姿をしている古墳です。古墳の大きさは155mです。
豪族の食官と思われる立派な家形植車輪がたくさん
出土しています。

木々が満開で、
きれいだったよ! 家形植車輪



● 女体山古墳



5世紀前半

帆立貝形古墳です。106mもある、かなり大きい古墳です。

● 男体山古墳
(天神山古墳)



5世紀前半

国指定史跡に選ばれています。
大きさは210mで、東日本では最大の古墳です。
女体山古墳の近くにあるので仲良しの人がかうめられていたようです。

となり同士だね。
ずーと、一緒だね。

● 円福寺茶臼山古墳



5世紀初頭

円福寺の境内にある古墳です。
新田氏累代の墓があります。

初詣に行ったよ!

古墳巡りをしてビックリした事 (👁️)

群馬県埋蔵文化財調査センターに行った時、榛名山の噴火によって被災した古墳人の発見「よろいを着た古墳人」が展示されていたのを見て、ビックリした。よろいがしっかり見えていたのである。もう一つはグラフィック第1位に選ばれた「笑う埴輪」を見た時に、なによりも不思議な顔で、頭の中にずっと残っています。

誰が作本の?

ぼくが大好きな古墳 NO.1!!

① 諏訪古墳



6世紀後半

とっても広くて、
お庭がきれいです。

この古墳は古墳の上に神社が乗っています。
時代のちがう物が合わさっていて珍しい所です。
古墳は石がきて、神社はコンクリートの土台になって
います。



大好きなので、何回も行きました。
ぼくが糸会を書いてみました。

夢の埴輪作りに挑戦!!

埴輪の作り方

- ①土をよくこねる こねるのが大変だったよ!!
- ②親指ぐらいの棒状の物を作る
- ③土台を作り輪っかにする
大きさが決まる大切な所である。
- ④輪っかをどんどん積み上げて
1体を作る
- ⑤ていねいにヒビが入らないように仕上げる



ぼくの家近くに
郷土資料館があるよ!!
家から歩いて行けるので、
何回も見学に行きました。

馬形埴輪

馬の埴輪が多いのも、群馬県の
埴輪の特徴です。
馬具も細かく表現されています。

ぼくには、こんな立派な物
作れないよ!!

おわりに



古墳の見学の日
は晴れの日も雨の日も
あったけど、家族の協力
があって、この自由石研究が
書けました。
いそがしい時には、
おにぎり片手に運転云
してくれて、群馬馬の色々な
博物館や古墳などの見学
をさせてくれた家族に感謝
します。

ぼくの埴車輪が届きました!!

ぼくが好きな人「徳川家康埴車輪」と
背広を着た「ハニオ」と名前を付けました。

ありがとう!!

大きい古墳や小さい古墳、色々な原真いを
込められて作られた埴車輪、昔の物が
きれいに残されていてすごいと思っ
ました。

まだまだ行っていない群馬馬の
たくさんの文化財を見るために
博物館や資料館を訪れたい
と思います。

昔の人の思いを知り、群馬馬の歴史
を学び、大切に守っていかなければ
いけないと思います。

古墳大国、群馬すばらしい!!

